

第8回「学びの変革」委員会

出席者

校長(委員長)	○	教 頭	○	総括事務長	○	主幹教諭	○
指導教諭	○	教務主任(総括責任者)	○	進路指導主事(中核教員)	○	実践推進リーダー	○
総務部長	○	1学年主任	○	2学年主任	○	3学年主任	○

1 校長から

(1) 教育長講話資料について説明

・学びの変革をそれぞれの立場でどう取り組むか振り返りながら、コンピテンシーレベルで授業を構成することが必要である。

(2) 授業について

・教科書の配列で授業を構成していないか、それを変えていかなければならない。そのために、学習指導要領に立ち返って、たとえばパフォーマンス課題をどこで組み入れるか、大単元か、学期レベルか、どう取り入れるかが今後のポイントである。

・シラバスが、教科書を教えるのが授業だとなっていることが一番の課題である。本質的な課題を中心に授業を構成する必要がある。

・ICTの活用について 書画カメラで生徒に説明することは、メタ認知として組み入れられる。

・授業はGOALを決めていないと、弊害が出る。GOALは何か、GOALを、何をもって評価するか、その次に手立てを考えることが必要である。

・探究活動に関しては逆向き設計をあきらかにして活動に終わらない探究が必要で、何のために活動を行うのか考える必要がある。そのために、本質的な問は何かから出発することが大切である。そこで、GOALを意識し、どういう学習計画で、どんな生徒を求めているか、カリキュラムポリシーを明確にし、卒業時点でどういう力を身に付けさせたいか、意識しながら取り組んでいきたいと思う。フランクライマンの引用「やらせてみるとき、目標がしっかりしていないと活動に終わる」

(3) 研究の目的について

デザインシンキングという言葉が盛んに使われている。課題発見・課題解決するために、目標や評価を意識し、これからの時代に変革を提案できる人材を育てるために、我々自身もそれぞれのところで教育活動を展開する必要がある

2 実践推進リーダーから

・探究基礎の展開について

地域課題について深めていくグループ活動を実施している。

実施上の課題

生徒は、課題を設定しているが、問いが大きすぎるという問題点がある。問いがしっかりとしていないと中身の無いものになるので、問いの再設定を行う。

フィールドワークの実施に関連して、アンケートの取り方や電話のかけ方などをおさえておいて整理して実施する予定である。

意見：校長

年間計画、目標があって評価があって、計画がある。何をもちて考えたかの評価を入れるようにする必要がある。

第一段階：目標

第二段階：評価（自己評価シートも入る） 4段階

第三段階：指導計画（内容）の順

活動に終わらないように

どういうパフォーマンス課題を設定するか、どこで設定するか？

生徒自身にも見取れるようなシートを提示し、授業の終わりに考えたかを確認する必要がある。

たとえば、前半ではスキルを教え、スキルが身に付いたかの評価をする。生徒の自己評価と教員側の評価が必要

やるということが目標になってしまつては弊害がある。

後半は自己課題との結びつきで検討する必要がある。



3 カリキュラム実践について

(1) 実践推進リーダー 3分

ア 6/15・6/24実施分の指導案について説明

伊勢志摩サミットの新聞記事提示し、重要な部分を引き出すことを中心に行う。

〔意見〕・全体計画を示し、そのうちの本時はどれに相当するか、わかるように示すこと。せ

イ 外部講師招聘計画

年間指導計画の中で、どの時間に外部講師を招聘するかについての説明

〔意見〕・計画書には、必要経費を入れたものを作成し、再提案すること

- ・百島プロジェクトを計画の中に入れること、テルモ株式会社の顧問の方の招聘について検討すること
- ・大学教授の招聘について、研究内容をもとに再考すること

(2) 教育研究部 6分

ア 2年

6/3～ 指導案の説明 グローバル課題の解決 昨年通り

課題解決に関わって、東京研修②の研修先を確定することができている。

評価ルーブリックに関して、研修旅行で身に付ける資質・能力を作成中である。

研修①の研修先はだいたい希望通り決まっている

イ 3年 最後のグループ論文の仕上げを行っている段階である。

6/13までにグループで論文を作成する。

7月には発表会を実施する。

[意見] グループの中で、役割の少ない生徒が出ないように、仕上げていく過程の中で役割を明確にすること。

4 研究開発に関すること 中核教員

関西学院大学第三回高大接続フォーラム「グローバル人材育成の教育実践の成果と課題」参加報告
[おもな報告内容]

探究活動を生徒にさせる場合、ルーブリックは統一されていることが重要である。そのために、モデレーションを行わなければ評価はバラバラになる。たとえば、「工夫した」というのは、どの程度を工夫したというのか、など教員間で検討することが必要である。